

住み続けたいまち室蘭を目指して 令和6年度のまちづくり

青山市長の令和6年度のまちづくりについて、前月号に引き続きお知らせします。

今号は、4つの戦略のうち、2から4について掲載します。

令和6年度の市政方針説明の全文は、市ホームページに掲載しています。

《詳細》企画課 ☎25-2181



「住み続けたいまち室蘭」の実現に向けた4つの戦略

1

安心できる
まちづくり

前月号で紹介

2

ものづくりと
世界に貢献する
港づくり

3

潤いある
文化・観光・
スポーツ振興

今号で紹介

4

将来を見据えた
都市整備と
行財政改革

2 ものづくりと世界に貢献する港づくり

室蘭港を活用した地域経済の活性化

○フェリー航路利用促進事業

船社・関係官公庁などとの情報交換・連携に加えて、青蘭フェリー航路利用促進のPRを実施します。

84万円



○港湾整備

祝津絵鞆地区岸壁、崎守地区防波堤、祝津絵鞆地区緑地、築地地区西3号ふ頭岸壁を改良・整備します。さらに、洋上風力発電の拠点化に向けて、関連企業の取り組みを後押しします。

3億6,160万円



ゼロカーボンシティの取り組み

○中小企業カーボンニュートラル促進支援事業

地域の中小企業を対象としたセミナー開催や、専門家のヒアリングを通じて省エネの可能性を発掘します。

127万円

○西いぶり広域連合における廃棄物発電の地産地消
令和6年10月の新中間処理施設の稼働に合わせ、環境価値（CO₂排出ゼロ）を有する廃棄物発電電力を地域内の公共施設で活用し、電力の地産地消を進めることで、脱炭素社会に貢献します。

効果額（想定）：約1,300万円（広域連合負担金△300万円、市施設電気料△1,000万円）

中小企業の人材確保と先端技術導入を支援

○就職フェア開催事業

求職者と企業がマッチングできる合同企業説明会を開催し、企業の人材確保を後押しします。

271万円

○働き方改革推進事業

ものづくり産業で働く現場女子の魅力発信や、企業向け外国人採用セミナーを実施し、多様な企業活動を支援します。

41万円



○ものづくり創出支援・成長産業参入支援

先端技術等導入への補助メニューの追加や、半導体関連作業に関するセミナーを開催し、新たなビジネス機会の創出につなげます。

866万円

3 潤いある文化・観光・スポーツ振興

こどもたちが文化、 スポーツに触れる機会の創出

○児童・生徒芸術鑑賞事業

小中学生向けの舞台等の芸術鑑賞事業を開催し、文化芸術に触れられる機会を創出します。

141万円

○アスリートから学ぶ未来事業

こどもたちがスポーツ選手などの経験や技術に触れられる機会を創出します。（令和6年度はソフトテニス・剣道）

98万円

だんパラ公園の魅力向上

期間限定でこどもたちが雪遊びなどができるスノーパークの実証事業を実施します。

150万円



市立室蘭水族館（室蘭民報みんなの水族館）の リニューアル

今後のリニューアルに向けた基本構想づくりに着手し、こどもたちがわくわくする施設の実現につなげます。

30万円



多彩な催しが可能となる市民会館の改修

施設の機能向上につながる計画的な施設整備に向けて、今年度は老朽化した設備を更新します。（I TVカメラシステム）

1,416万円

4 将来を見据えた都市整備と行財政改革

学校給食センターの更新

室蘭市と登別市の共同で八丁平に設置予定の学校給食センターについて、基本計画の策定に着手し、安全・安心な学校給食の提供につなげます。

1,750万円

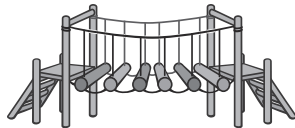
道路・公園整備

モル工新工区による交通量の増加を踏まえ道路拡幅整備に着手します。

6,740万円

森林環境譲与税基金を活用し、八丁平北公園に木の温もりに触れられる遊具を設置します。

1,100万円



財政改革と市民サービスの向上

○証明書のコンビニ交付手数料は100円になります。

窓口の混雑緩和や利便性向上を図るため、コンビニ交付手数料を100円に引き下げます。

（住民票交付の例：窓口450円→コンビニ100円）

影響額（想定）：交付手数料（歳入）△640万円
コンビニ交付経費（歳出）260万円（想定）



○電子入札・電子契約システム導入事業

入札・契約手続きにおいて、システムによるデジタル化を図ることにより、入札参加者の負担軽減や契約手続きの円滑化につなげます。

1,488万円



▲青山市長

令和6年度における市政運営の基本姿勢と主な取り組みについて、4・5月号の2回にわたり紹介しました。

私が目指す「住み続けたいまち」の実現に向けては、市民の皆さまや事業者と意思を共有し、皆さんが暮らしやすいと共感できるまちを、共に作り上げていくことが最も重要であると考えています。

これからのまちづくりでは、前例の無い課題も想定されますが、そのような時こそ、市民や職員、さらには室蘭に所縁のある市外の応援者の方とも手をとりあって、負けてたまるかという姿勢で、私の持てる力の限りを尽くして挑戦していきます。

市民の皆さまのご理解とご協力を心からお願い申し上げます。